

主体的に学び合う児童の育成

—ICTを効果的に活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実を目指して—

第4学年

総合的な
学習の時間

ハートフル川之江 ～ハートをつなごう～



ポイント1 児童の実態に合わせた必要感のある課題設定

問い合わせよう



目標

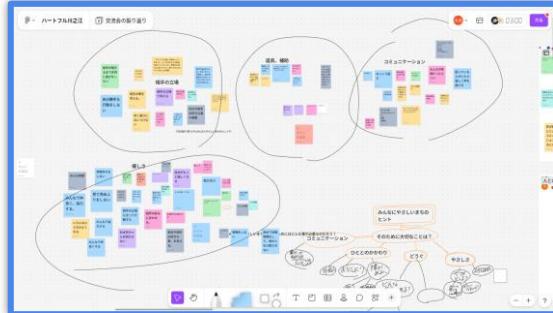


ゴール



みんなにやさしいまちにするためにはどうすればいいのだろう。

お年寄りや障がいがある人の交流を通して、みんなにやさしいまちのヒントをGET！



交流を通しての気付きを整理
(FigJam)
必要感に応じて探求チームを複線化。
(スプレッドシート)

どうぐ・せつび	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
コミュニケーション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
人との関わり	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
やさしさ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

ポイント2

対話や気付きの質を高める工夫



車椅子について知る

1. アームサポート
2. サイドボード
3. セシート
4. ラッシャン
5. レッグサポート
6. フットレスト(脚輪)
7. キースタ(脚輪)
8. ブレーキ
9. ハンドル
10. ティッピングブレーキ
11. ハンドグリップ
12. ドラムブレーキ
13. ハンドル
14. 背シート(ハンググリップ)

車椅子の各部の名前を学ぶときは、キャラクターと一緒に各部の名前を覚えていくのが簡単です。例えば「足の部分」は「フット」で、「手の部分」は「ハンド」で、「腰の部分」は「セシート」と覚えておきましょう。

車椅子を利用するときに使うハンドルを回して進む。
車椅子に乗ったとき、軽いショックがあるので、体が震ります。

コメント

watanabe 3日前 分類してみるととにかくわかることがあります！

出なくてベースでした落ちる
だれか元気
なかうちどうか
くどく使くとも
文字が見えにくい人もいるから色をついたり文字を太くするとわかりやすい



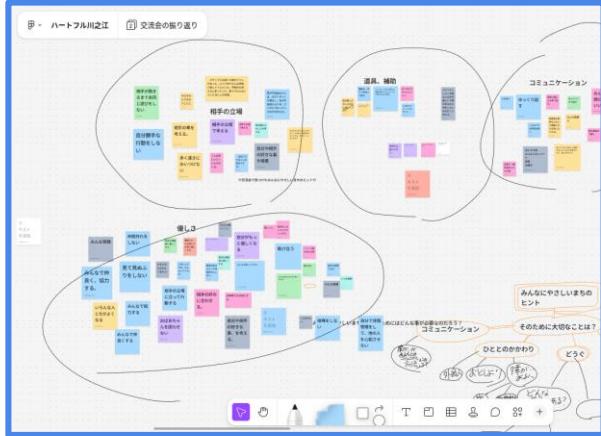
個人の探究。調べたことを自分なりにFigJamに整理
スタンプやコメント機能による見取りとアドバイス

交流や体験活動を大切に。
やってみることで初めて気付くことばかり！

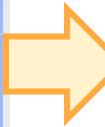
活動の目的意識や相手意識があれば、
対話が弾む。
目的や目標を見失わないように。
準備しすぎない！！

ポイント3

次の学びに生かす振り返り



▽児童が作るハートフルマップ（制作中）



交流会後には必ず振り返りを実施。共有した気付きから次の課題を設定。

個人の振り返りから、いつでも学習の足跡が振り返られる学年の掲示へ。
(制作中)



学んだことや気付きを
次の学びや実生活に生かす。